

市長（山田憲昭君）

ボランティア団体が活動しやすい環境づくりが肝要ではないかについてお答えをいたしたいと思います。

去る3月12日から13日にかけて、松任地区では松任海浜公園や八田公園、美川地区では手取公園や小舞子公園で地元町内会やボランティア団体などによる抵抗性クロマツ1,800本の植樹が行われました。手取公園では約200名、松任海浜公園や八田公園では約120名、小舞子公園では約100名と多くの方々にボランティアをいただきまして、感謝をしているところであります。

市といたしましても、海岸線の保全を図ることは海岸線の確保はもとより、周辺住民の生活にも大切なことであると認識をいたしております。

質問であります資材の提供であります、これからも苗や炭などは提供してまいりたいというふうに思っております。

また、ボランティア活動をしていただけるように白山「みち」と「川」の美化パートナー制度を拡大し、除草やごみ集めに必要な資材を提供するとともに、町内会やボランティア団体がそれぞれの特徴を生かした松の植栽ができるように、国の宝くじや緑の募金を原資とする松苗の配布事業や県の地域住民による松林事業のほか、今年度新たに創設されました市民提案型まちづくり支援事業制度をも活用いたしまして支援をしていきたいというふうに考えております。

いずれにいたしましても、白砂青松を守るため、ボランティア団体が活動しやすいよう環境づくりを進めてまいりたいというふうに思っております。

また、あわせて議員が望んでおりますように、能美市では立派に活動している先進事例があります。ハードの部門、ソフトの部門、そんなことも含めて、せっかくこうしてボランティア団体の皆さん方が大いに自分たちのところは自分たちで守ろうというそういった気運がありますので、できるだけそういった先進事例を大切にしながら、またボランティアの皆さん方にも頑張っていたいただき、そして自分たちの地域を守ろうという意識を今後とも支援をしていきたいというふうに思っております。